

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 洛和会	代表者	矢野 一郎	法人・ 事業所 の特徴	母体は京都市山科区にある音羽病院の介護事業部門の施設。同会においては市内で5番目、平成26年4月にここ竹田・住吉学区で初めての小規模多機能サービスとして設立。「地域に頼りにされる施設」をモットーに日々、取り組んでおります。また月々定例の催しを開催して活発な地域交流が自慢の施設です。
事業所名	洛和小規模多機能 サービス伏見竹田	管理者	小北 稔美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	1人	0人	0人	1人	0人	2人	0人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今回の自己評価は初回という事もあり、非週3日以下の非常勤さんは含まずでの実施にて今回は在籍スタッフ全員で実施したいと思えます。	非常勤にも参加してもらい、全職員で取組みが出来た。	全体で自己評価に取り組まれておられ、職員の意見もしっかり記入され改善計画にも反映されていると思います。	改善計画にそって取組みを行い、自己評価をすることで事業所の強みや弱みを理解しさらなる発展に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	施設内のインテリア(装飾)については今後、より一層「まとまり感」を意識して取り組んでいきたいと思えます。	施設内の装飾も子供っぽくならない様に工夫をこらして取り組むことが出来た。	玄関にウェルカムな雰囲気の装飾が見られ入りやすい工夫はされている。 玄関前に花壇があり手入れもされ清潔感を感じられる。	中だけでなく外回りの清掃もしっかりおこない、季節感のある装飾を玄関に展示したり外部の方が入りやすい雰囲気作りに取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	次年度も引続き幼老の2本柱を視野に入れた関わりを実施予定。老側は一層の成熟を目指し、幼側(小学校)は保護者まで幅が広がる様な取組みを目指したい。	サロンの実施や竹田ネットワークとの開催で小学校で認知症サポーター講座を行い、その保護者も参加していただくことができた。	地域の方がどこまで事業所を知っておられるかは分からない部分もあるが、サロンを開催され積極的に地域とのつながりをもたれていることはとてもよいことだと思う。	地域の方に向けた見学会を毎月実施し、相談しやすい事業所のアピールを行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	今まで築き上げた人脈(ネットワーク)を活かして、新しい社会資源の発掘と参加で更なる地域貢献と交流を深めていきたい	民生委員会議にも参加し、竹田ネットワークにも参加情報交換を行う取組みが出来た。	地域の方との交流はサロンやイベントで活発にされていると思う。心配ごとなど気軽に相談できる場所としてこれからもかかわりを深めて欲しい。	イベントやサロンをつかって相談しやすい場所作りをおこない、地域との関係性を大切にしていく。又地域の情報を知るための取組みを行う。(介護相談会など)
E. 運営推進会議を活かした取組み	施設を更に知って頂くために、カフェや吹き矢教室の方々の近況把握も目的に次年度は運営推進会議へのお誘い参加も目指していきたい。	運営推進会議の目的や理解を深めてもらう活動が出来ていなかった。	報告会だけになりがち、地域の課題を話し合いそれにむけた活動をおこなえるような会議になってほしい。施設の不適合、ヒヤリハットの改善策をくわしく説明されていないと感じる。	運営推進会議の目的を理解していただき、気軽に参加し困りごとや心配ごとなど気軽に話合える場所として地域にも貢献できるような会議作りをしていく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>有事の避難場所として機能するためにまずは施設としての役割を具体的に挙げて体制を整えていきたい。</p>	<p>災害時の事業所として地域での役割が明確になっていない。 地域の方の意見を聞く機会が必要であったと思う。</p>	<p>防災計画はわかりやすい場所に掲示したほうがよいと思う。 事業所の防災訓練を地域の方が参加できるような取り組みをしてもらえたらと思う。</p>	<p>防災計画書を明確に、誰もがわかるように掲示する。また、災害時の事業所としての役割など地域とともに考えて取り組んでいく。</p>
----------------------------	--	--	---	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 22 日 (17:15 ~ 18:15)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 小北、宮脇、成岡、能勢、古川、萩原、武藤、宇野、小倉西村、東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	1 人	0 人	11 人

前回の改善計画	日々、先輩経験者の助言 (指導) やアドバイスを交えつつ、コミュニケーションスキルの向上を目的とした研修 (内外) を開催受講する。研修後は未受講者にも水平展開として伝達研修も実施してフォローする。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月の内部研修には職員参加できている。事業所での内部研修もおこなったが職員の日時が合わずに全員参加にはいたらなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7	4	0	0	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、ま ず必要としている支援ができていますか?	3	8	0	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで の声掛けや気遣いができていますか?	4	7	0	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、 関係づくりのための配慮をしていますか?	5	6	0	0	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎月、各利用者の担当職員が留意点の確認と更新を行い、毎月 2 回のミーティング時に情報の共有が出来ている。
又、家族にも電話、訪問、連絡帳において密なコミュニケーションに努めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日々変化する利用者の情報が時折、伝達不十分な時がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
個々の職員が注意力、観察力をみにつけるためにも、内部での研修を増やし利用者本位のケアを目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 22 日 (17:15 ~ 18:15)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 小北、宮脇、成岡、能勢、古川、萩原、武藤、宇野、小倉西村、東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	2人	0人	11人

前回の改善計画	日々や月々のミーティングにおいては引続き、ケアマネの意向をプランに基づいて伝えていく。またケアマネ以外の現場スタッフも本人様の思い (声にならない事も含め) を汲み取れる様に「センター方式」を活用して研修や実践に活かしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月2回のミーティング時に、ケアプランの評価を行い利用者、家族のニーズを把握しケアの実践に努めている。一部センター方式を使用しているが、全体を見るまでにはいかせていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	8	2	0	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	10	0	0	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	9	1	0	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	8	0	0	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 毎日モニタリングのチェックを行って日々の関わりができてきているかの確認はできている。
 また、毎月2回のミーティング時に利用者のニーズの再確認を行い新しい情報収集に努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 目標について、その時々々のケアは行えているが、長期の部分では継続した関わりが難しいと感じるときがある。
 具体的なゴールが職員間で意思統一できていないと感じる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 センター方式を活かし、アセスメントを行い本人の目標を、職員間で統一した理解として深めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 22 日 (17 : 15 ~ 18 : 15)

3. 日常生活の支援

メンバー 小北、宮脇、成岡、能勢、古川、萩原、武藤、宇野、小倉西村、東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	1 人	9 人	1 人	0 人	11 人

前回の改善計画	新旧スタッフともに帳票（留意点や基本情報）の読み込みを再度徹底指導。各ケース担当はまずその利用者様に興味や関心を持つ事を意識させる。また家族様とのやり取り（面会時他）の場面においても担当問わず、自ら情報を取りにいく姿勢が大事である。また得た情報は記録に残し（ちょうじゅ・留意点）に反映共有出来ているかを各担当が主となりチェック体制を確立実施していきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	家族への情報収集の点では、職員全体で出来る職員と出来ない職員に差がある。得た情報は、記録に反映し毎日のミーティング時に共有できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	1	2	8	0	11
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	7	0	0	11
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	8	2	0	11
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	9	0	0	11
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	9	0	0	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
基礎的な介護はできている。本人の現在の状態や様子、体調の変化など朝夕 2 回のミーティングで共有をし反映している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らしなどの情報収集が全ての利用者に対しては行っていない。コミュニケーション力が足りない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
本人や家族との関わりを深め知る努力に努める。知り得た情報を記録に残し毎日のミーティングにて報告を行い職員間で共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 22 日 (17:15 ~ 18:15)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 小北、宮脇、成岡、能勢、古川、萩原、武藤、宇野、小倉西村、東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	8人	2人	0人	11人

前回の改善計画	こちらでも上記、3.と同様にまずスタッフが利用者様や地域に興味や関心を持ち、家族様とのやり取りの場面においても自ら情報を取りに行く。地域資源に関してはまずはケアマネが先頭に立ち情報収集を行い、現場スタッフにも理解と浸透を促していきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源に関しては、情報が入り次第CMから職員に報告を行い業務記録に残している。個々の職員が利用者の背景を自ら情報を得る場数が少なく、業務中心になっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	8	2	0	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないうちに支援していますか?	1	9	1	0	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	4	0	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	4	7	0	11

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
訪問時や送迎時など、家人との会話や、連絡ノートでのやりとりを蜜にし本人の背景などの把握に努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の地域での関わりや自宅での暮らしぶりなど聴き取りが足りない時がある。個々の職員の積極的な聴き取りが必要。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
新規の面談の際に、本人の生活背景をしっかりと聞き込み職員全員にミーティング時に伝達していく。また、個々の職員も家人の面会時や本人との会話の中から新たな情報を得る為のコミュニケーション力を強めるよう指導していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 22 日 (17:15 ~ 18:15)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 小北、宮脇、成岡、能勢、古川、萩原、武藤、宇野、小倉西村、東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	3 人	4 人	1 人	11 人

前回の改善計画	上記、A については段階的なハードルを設定して、引続きアプローチを行っていく。B についてはまずケアマネが把握している地域資源の情報を現場スタッフにも紹介。具体的な活用までの流れを施設内研修として実施したい。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の資源を使つての支援が必要とするケースが少ないこともあり、内部研修までにはいたっていない。情報としての紹介は行えているが、職員全員が把握していない現状がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	5	5	0	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が適切に提供されていますか?	2	9	0	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	7	0	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	6	0	0	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 臨時対応や訪問への切り替えなど適切に行なっている。利用者の日々の変化などがあれば、毎月のミーティング時に担当者が報告し、共有出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 どのような時にどんな資源を活用できるのかわからない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 地域資源の理解を深める為にも勉強会を行い把握に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 22 日 (17:15 ~ 18:15)

6. 連携・協働

メンバー 小北、宮脇、成岡、能勢、古川、萩原、武藤、宇野、小倉西村、東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	4 人	1 人	11 人

前回の改善計画	現状、各スタッフにおいても各種会議に出席して対応出来るか否かのスキルの差がある。まずは管理者以下リガーから育成を行い各個人の力量アップを図っていきたい
前回の改善計画に対する取組み結果	会議の議事録の張り出しをして会議内容の共有に努めている。育成については、継続して行っていく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	3	4	2	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	2	3	3	11
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	5	4	0	2	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	9	2	0	0	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
他事業所やネットワークなど定例会議には参加できており、町内会の行事や消防訓練にも参加し地域との関わりはもっている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
会議については管理者やCMが出席しており、他職員が参加していないために出来ていないとの解答が多くあった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
各会議においては、議事録を張り出すだけではなく口頭での伝達も行って行くことで職員にも関わりと理解を深めていくようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 22 日 (17:15 ~ 18:15)

7. 運営

メンバー 小北、宮脇、成岡、能勢、古川、萩原、武藤、宇野、小倉西村、東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	7 人	2 人	0 人	10 人

前回の改善計画	特に経験の浅いスタッフや新採用のスタッフにおいては現場業務をこなす事以外に、小規模としての役割 (地域との関わり) についても落とし込み (研修) を行い全体像が把握 (理解) 出来た上で活動出来るスタッフ育成を実施していきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	小規模の業務内容などマニュアル作りを行い周知徹底を行っている。 職員全体に小規模の役割の理解を深める研修は行っていないが、毎月のミーティング時に小規模の役割や内容について話す機会をつくっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	8	1	1	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	8	0	0	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	7	0	0	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	6	5	0	0	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
意見や苦情などには迅速な対応を行なっている。サロンを開催し地域の方からの意見を聞く機会も多くもっている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事業所の有り方について意見が言いにくく躊躇してしまう時がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
職員同士が意見が言いやすい雰囲気作りを行い、職場内のコミュニケーションをはかることでよりよい事業所作りに努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28/年 10 月 22 日 (17:15 ~ 18:15)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小北、宮脇、成岡、能勢、古川、萩原、武藤、宇野、小倉西村、東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	5 人	4 人	0 人	11 人

前回の改善計画	現状、各スタッフにおいても各種会議に出席して対応出来るか否かのスキルの差がある。まずは管理者以下リーダから育成を行い各個人の力量アップを図っていきたい。また定期的に過去の事例を統計化また分析を実施してスタッフミーティングで話し合う事で再発防止に繋げていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	リスク管理については、毎月 2 回のミーティングの際に次月の事例の振り返りと、改善策についての評価を行っている。 事業所の内部での勉強会について時間がとれなく、回数が少ないのが現状である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	6	0	6	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	6	1	1	11
③	地域連絡会に参加していますか	2	4	2	3	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	11	0	0	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
月に一度おこなっている内部研修には、職員が参加しており、スキルアップに努めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
家の事情で時間外の勉強会に参加出来ていない。管理者や CM が地域連絡会に参加しているかわからない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
事業所内部の勉強会の時間を作り毎月 1 回は行って行く。また、連絡会への参加状況など他職員に報告を行って行く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 22 日 (17:15 ~ 18:15)

9. 人権・プライバシー

メンバー 小北、宮脇、成岡、能勢、古川、萩原、武藤、宇野、小倉西村、東

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	3人	0人	11人

前回の改善計画	まずは組織で開催の全体研修へスタッフ全員が参加出来るシフト調整を実施。また研修参加が出来たスタッフは未参加のスタッフに向けて、月々のスタッフミーティングで伝達研修（水平展開）を実施していきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	全体研修の参加は毎月実施し行っている。伝達研修に関してはなかなか時間がとれず遅れてはいるが開催している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	8	3	0	0	11
② 虐待は行われていない	9	2	0	0	11
③ プライバシーが守られている	7	4	0	0	11
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	3	4	2	2	11
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	7	4	0	0	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
虐待、身体拘束においては職員間での意識は強く徹底できている。個人情報の管理についても、起立にそって実施している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度の具体的な内容を把握できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
身体拘束や虐待、プライバシーへの配慮については現場での周知徹底に引き続き努めていく。
成年後見制度については勉強会の実施を行う。